

「障害女性の現状と未来を語る」

韓国の女性たちに出会おう！  
日本の女性の声を伝えよう！



今年9月4日から韓国で開催される、DPI世界会議には、各国から障害がある人達が、集まります。国境を越えて、たくさんの人と交流が出来る、めったにないチャンスです。韓国にも、日本にも、さまざまな所でパワフルに活躍している女性障害者の仲間達がたくさんいます！

日本で障害者は、障害があることだけがクローズアップされて、性の部分があと回しになり、ただ介助を受ける存在であるかのように、扱われてきた歴史があります。障害者であるまえに1人の人間であり、女性であるということを素直に思えて自分自身に誇りをもって暮らしていくことが、大切だと声を上げていきたいです。

さあ、みなさん、つながっていきましょう！！

2007年 7月 8日 (日)

**会場** 新宿区立障害者福祉センター (新宿区戸山 1-22-2) **第1・2会議室**

「戸山サンライズ」の隣り 地下鉄東西線「早稲田」・大江戸線「若松河田」駅から徒歩約10分

**13:00 ~ 17:00 シンポジウム** (資料代 500円・介助者無料)

資料のテキストデータ、パソコンによる要約筆記があります！

**18:00 ~ 20:30 交流会** (会費 500円・介助者 500円)

共催：たんぽぽネット・DPI日本会議・自立生活センターHANDS世田谷

たんぽぽネットとは…今回のイベントを企画した女性障害者運動のネットワークです。

## 日韓のスピーカーのご紹介

キム・ヒョジンさん(韓国DPI女性委員会委員長)



障害者問題が解決すれば、障害女性問題も自然に解決するといった展望はできないと、障害女性たちは、自分達が障害をもつ男性とは違う要求をもっている事を明らかにする活動を展開してきました。そして、韓国の障害女性が主軸となり、障害者の権利条約、韓国の障害者差別禁止法に、「障害女性条項」が入れられ成立しました。障害女性の声を、全地球的に十分にあげていくために、誰も疎外されない社会の実現を早めるために、さらに協力と連帯を求めています。

ウィ・ムンスクさん(ソウルDPI会長、韓国 DPI 事務処長)\*予定\*

堤愛子さん(NPO法人町田ヒューマンネットワーク 副理事長 ピア・カウンセラー)



1979年「車いす市民全国集会」で、日本初の「女性障害者問題分科会」を担当したことをきっかけに、障害がない女性たちとも連帯を創り出しながら、優生思想や性に関する問題に取り組み、女性障害者の立場で運動をしてきました。優生保護法から母体保護法への改訂にもつながりました。その後のピアカウンセリングとの出会いは大きなものでした。「ありのままの自分でいいんだよ」というメッセージにより、障害者は自分自身を解放する事ができるようになってきました。現在は、「共に生きる・ありのままに生きる」が私のライフワークとなっています。

### 進 行

#### シンポジウム

- 13:00 開会
- 13:10 韓国・日本のスピーカー紹介
- 13:20 韓国の話
- 15:20 休憩
- 15:35 日本の話
- 16:15 質疑応答
- 17:00 終了

#### 交流会

会費 500 円・茶菓を用意します。

おしゃべりして、楽しむ時間です

18:00～20:30

お問い合わせ・ご連絡は、

下記の代表連絡先までどうぞ。

**特定非営利活動法人 DPI 日本会議**

(担当: 崔 ・ 山本)

住所: 〒101-0054 東京都千代田区

神田錦町 3-11-8 武蔵野ビル 5F

TEL: 03-5282-3730

FAX: 03-5282-0017

Email: office@dpi-japan.org

お申込不要、直接会場へおこしください。

点字資料・手話通訳・要約筆記・テキストデータなどご希望の方は、上の連絡先までご一報下さい。